



令和3年度 No.25



「期待感」

5年生が動いた。自らやろうとした。友と誘い合った。
頼むぞ。

(2021.11.21 北条町駅伝競走大会「ガッツ5-2」1区から2区への中継)

『風の吹き返し』（当世北条小事情）

たまたまですが、



葉を落とした正門前の桜

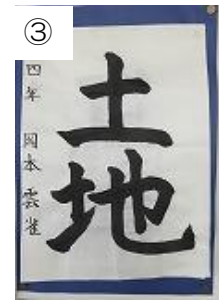
それが5年2組であったことはたまたまです。

校長室の掃除当番については本紙No.8でもお伝えしましたが、2学期は主に正門付近やバス停あたりにたまる桜の落ち葉を掃除しました。キリもない作業のような気もしましたが、5の2の子どもたちと、たまっては掃除、を繰り返すうち、秋は深まり、徐々に増えていった落ち葉がやがては徐々に減りはじめ、とうとう桜も葉っぱを落としきりました。最後には道路の排水溝に入り込んだ葉っぱと泥を、ふたを外して手を突っ込んでとるところまで。やりきったというか、最後まで落ち葉に付き合った、という感じです。これにて今年度の校長室掃除はシーズンオフに入ります。5年2組の当番さんはそれぞれの個性を見せながらよくがんばっていました。たまたま5年2組でしたが、きっと他のクラスでもこうしたがんばりを見せてくれたのだらうと思います。粘り強く黙々とがんばることのできる北条の子どもたちです。

話変わって、11月21日(日)には北条町の駅伝競争大会がありました。その大会の一般の部に有志でチームを組んで参加したクラスがありました。きっかけは「今年ある町の駅伝に出る人あるの?」という何気ない担任の先生の声かけだったそうです。「あ、ぼく出たい!」と手を挙げる子がいて、「あーぼくも出たい。」「えー、じゃあ私も」・・・「どうぞ、どうぞ、どうぞ」。こんな感じであっという間に補欠、マネージャーを含めた13人の仲間が集まりました。いいですね、このノリ。今後の北条小学校に勢いをつけてくれることにもなりそうな予感がしました。

このクラスが5年2組であったことはたまたまです。同大会の自治会の部には部落代表としてたくさん本校の小学生の参加もありましたし、スポ小のチームなどで参加している子もいました。積極的にチャレンジし、地域行事への参加も活発な北条の子どもたちです。

たまたま見つけた私的傑作選



11月12日(金)の参観日にはご来校ありがとうございました。参観いただいている様子を回ってみさせていただいている時に、目にとまった子どもたちの作品を、ほんの一部ですが紹介したいと思います。

① 6年生 杉山月栴さんの作品。これは修学旅行の思い出を描いたものです。「海とくらしの資料館」のしかもサメ、しかも画角からはみ出るような描き方をしてその迫力を表現しました。2日間の修学旅行をその一点に絞った大胆さがいいですね。

② 5年生 淀瀬にこさんの作品。「まだ見ぬ世界」をテーマとして、自分で撮った1枚の写真の外側の世界を想像して描きました。これなんだろう?というのが第一印象でした。近づいて中央の写真を見ると、給食センターの上に見えた雲を竜の頭に見立てたことがわかって納得。「りゅうに見つかったどろぼう魚」というタイトルを見て、そのユニークな発想に感心と3段階に楽しめました。

③ 4年生の廊下には習字が貼ってありました。ぱっと目についたのが、岡本雲雀さんの作品。先日紹介した下水道コンクールで銅賞を受賞した作品を紹介できていなかったこともあったので、今回取り上げました。

たまたまこの3作品を紹介しましたが、もっともっとたくさん、それから他学年のものも取り上げたかったところです。参観の折には見ていただいたと思いますのでご容赦ください。

「大切な名前」-ぶらり、授業拝見⑤ 2年生生活科 からの 3年総合的な学習 -

1ヶ月以上前のことになってしまいました。10月の中旬、2年1組の授業をのぞくと、自分の名前に込められた家族の思いを考える授業をやっていました。「元気で育ってほしい」「優しく思いやりのある人に」「周りに愛され、周りを愛する人に」「自分を信じて前に進んでほしい」…たくさんの願いや思いが短冊に書き出され、黒板に貼られていました。これがぼくのだ、私のだ、とうれしそうに黒板に集まる子どもたち。その一方で、この取り組みで書いてもらった保護者の方の手紙が心に響いたんでしょね。座ったまま涙する子もいました。当たり前ですけど、名前って大切ですね。



自分の名前の短冊を見つけて喜ぶ2年1組の子どもたち



設置作業を終えて、看板を囲む3年生

3年生の総合的な学習では、北条特産のぶどうをテーマに学習しました。ぶどう農家さんや北条ワインさん訪ねたりして学習する中で、前庭のぶどうのハウスについてもいろいろ考えて関わってきました。その活動の中で、このハウスに3年生が名前をつけてくれました、名付けて『みんなのぶどうハウス』です。最初に聞いたときより、時間が経つに従ってじわじわといい名前をつけてくれたものだと感じています。その『みんなのぶどうハウス』の名前が立て看板として3年生によって作られ、この度いよいよハウスの前と後ろに設置されました。名前がつくと一層親しみがわきます。きっと、その名の通りみんなから親しまれるハウスとなってくれるでしょう。名前って大切ですね。